

# ワーク・ライフ・バランス推進事業【三重県亀山市】

## 地域の実情と課題

亀山市は、高い交通拠点性を基盤に、多様なものづくり産業が集積する内陸型工業都市として発展している。このような中、第3次亀山市男女共同参画基本計画2012で掲げた各成果指標に対し数値の向上はみられるもののまだ道半ばであり、今後一層の取り組みが必要である。

## 事業の特徴

亀山市独自の「亀山市ワーク・ライフ・バランス推進週間」を設定し、市民一人ひとり、また事業所がこれまで以上にワーク・ライフ・バランスに意識して取り組んでいただけるよう、重点的な取り組みを行っている。

具体的には、推進期間中において、「亀山市勤労者ファミリーフェスタ」や地域イベントなど、様々な主体との連携協力により趣旨の啓発に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに関する講演会や社会教育施設の無料開放を実施。

## 事業の効果

講演会入場者数は132名(昨年度42名)、社会教育施設の入場者数は376名(昨年度308名)となり、前年度に比べて参加者が増加した。また、講演会でのアンケート結果において、「参加してよかった」が98%であり、参加者一人ひとりのワーク・ライフ・バランスについての意識の向上にも繋げることが出来たことで、男女共同参画社会への推進につながった。

## 目的・目標

女性の職業生活における活躍のために、職場全体の意識改革等に取り組む企業などの発表を実施することにより、自主的な取組を促す。また、各地域コミュニティや市民活動団体を含めた市民一人ひとりに対し、講演会を開催し、ライフステージやそれぞれの価値観に応じた生活の充実を目指した。結果として、平成33年度目標に掲げたワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う事業所数6社のうち、平成30年度時点で1社となった。

## 連携団体

亀山市教育委員会(市内小中学校)、亀山商工会議所、亀山市雇用対策協議会、亀山市労働者福祉協議会、亀山市地域まちづくり協議会、亀山市子ども会育成者連絡協議会、市民活動団体(アクティブ亀山)

## 今後の課題

亀山市ワーク・ライフ・バランス推進週間を設定し、期間中の講演会入場者数は132名(昨年度42名)、社会教育施設の入場者数は376名(昨年度308名)と、前年度より増加し市民へのワーク・ライフ・バランスに対する意識は向上してきた。しかしながら、事業所向けのアンケートを実施したところ、当該推進週間を「知っている」割合は、50%であったことから今後は更なる事業所に向けた啓発の取り組みが必要である。

## 事業の概要

亀山市独自の「亀山市ワーク・ライフ・バランス推進週間」を設定し、市民や事業所がこれまで以上にワーク・ライフ・バランスに意識して取り組んでいただけるよう、重点的な取り組みを行っている。

具体的には、推進期間中において、「亀山市勤労者ファミリーフェスタ」や地域イベントなど、様々な主体との連携協力により趣旨の啓発に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに関する講演会や社会教育施設の無料開放を実施。



ワーク・ライフ・バランス講演会



亀山市勤労者ファミリーフェスタでの啓発活動



雇用対策協議会での講演